Ｃ－３子どもの学びと変容

１．子どもの学びの考察

（１）ふり返り（記述）の考察

- 今日はどちらがよくとれたかについて考えました。みんなの意見を聞いたりして，一つ何か分からない事があったらどんどん質問していたので，いろんなことがぎもんに思ったりしました。荒牧さんの式について，くわしく答えを出したいなぁと思いました。
- 今日の問題はとてもなやみました。自分で予想したのの理由を考えるのが時間かかりました。でも，平均を出してその平均を比べることができるということが分かりました。もうちょっとくわしく知りたいです。
- 今日は数のちがう牛からとれた牛乳の数の平均を出す勉強をしました。すごくむずかしくてたいへんで，質問されてばかりだったけど，自分の考えを持ってさいごまで言えてよかったです。
- 今日は，1／2と同じ仲間を見つける勉強をしました。ちょっと難しかったことが，昨日の村上さんの分子の見つけ方をヒントにしてやってみたらできたのでうれしかったです。
- 答えはみんないっしょで，やり方はたくさんあるんだなと思いました。これからも練習をたくさんしたら，整数が2，3になってもできると思いました。
- 今日は発表をしました。このやり方がわからなくて，先生からみんなに聞いてもらったら，いろいろな意見が出てきて，やり方がわかったのでよかったです。

自分なりに考える場や考えを伝え合う場を通して，みんなで考え出したという達成感や頑張ってよかったという満足感がふくらんできたようだ。１学期の後半になると，何がわかって，何がわからないのかを意識して書く子も出てきた。

M男　（1㎡あたりと1匹あたりを求める式の学習後）
　　式の使い方がむずかしかった。まだ式の使い方と答えの出し方が，まだよくわからない。はやくわかるようになりたい。
⇒（次時のふり返り）
　今日は式の使い方と答えの出し方がわかった。でもうまく発表することができなかった。こんどからは発表をがんばりたい。

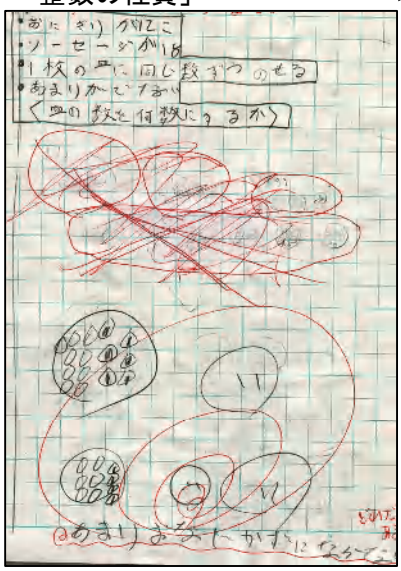
（２）一人一人の変容から見た考察

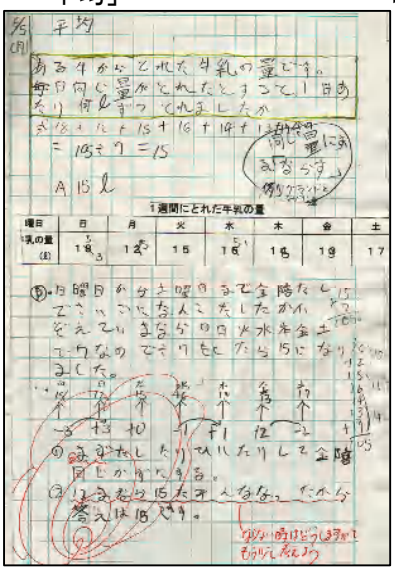
１学期の最初の単元学習後の総括的評価の結果から，２人の子どもを抽出し，その子どもの学びの変容を分析した。

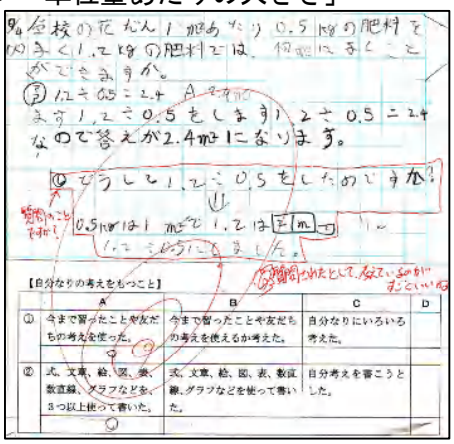
①Ｔ男…身体を動かしながら学ぶことを好み，机上での学習は苦手なようである。課題にはすすんで考えようとするが，その場での思いつきが多い。ノートに自分の考えなどを書くことを面倒くさがり，じっくり考えるようにさせたい。

【学びの変容】

「整数の性質」 → 「平均」 → 「単位量あたりの大きさ」







考えて書くことが苦手だったＴ男は，やる気はあるが最初はノートに何をどのように書いていいのかがわからなくて，すぐに具体物ややってみようコーナーへ行くことが多かった。平均の学習では，課題をじっくりと考えながら，ノートにもわかりやすく書いた。考えの理由を書く部分でも，「まず」「だか

ら」などの言葉を使っている。単位量あたりの学習では，質問されたらどのように答えるのかも自分から考えてノートに書いている。発表の中でも「１秒あたりにすすむきょりは，…」など，言い方も考えながら発表することができた。

②H子…学習には真面目に取り組むが，指示待ちの学習態度が多く見られた。発表など自分からしようとすることはなく，計算もあまり確かではない。意欲的に自分から学ぼうとする意欲を持たせたい。

【学びの変容】

「ふり返りノート」より

4／12	5／15	5／23	7／6
今日はもっと簡単な求め方を習いました。最初は何をするのかなと思ったけど，みんなの発表などで何をやるのかわかったのでよかったです。	今日は，分母の求め方を考えました。みんないろんな意見を出していました。でも今日の時間で発表できなかったので，今度の時間は発表できたらいいなぁと思いました。	今日は発表しました。このやり方がわからなくて，先生からみんなに聞いてもらったら，いろいろな意見が出て，やり方がわかったのでよかったです。	今日の問題は今まで習ったことがつかえるかどうか考えてならったことを使いました。ちょっとわからなくて考えたところもあったけど，できたのでよかったです。

最初は毎時間の振り返りに，わかったことを書くことが多かった。しかし，少しずつできたことや今度頑張ろうと思うことを書き，自分なりの考えもノートに書けるようになってきた。

（３）子どもの意識調査の考察

７月上旬に算数学習に対する意識調査を実施したところ，のびのびコース（どちらかというと算数が苦手）の１４名の結果は以下の通りだった。

①＜算数の勉強は好きですか＞

とても好き	まあまあ好き	あまり好きでない	全く好きでない
３人	９人	１人	１人

「とても好き」「まあまあ好き」（１２人）の理由

・答えがわかったらうれしいから。
・計算とかがあまりとくいじゃないから。でも図や絵を書くのは好きだから。
・あまり早くすすまないから。
・むずかしい問題がいっぱいあるけど，それを自分でとけたら，とってもうれしいから。
・楽しいから
・算数の授業はわかりやすいし，生活の中でも役立つから。
・わからなかったことなど，なるほどと思うことが多くなってきたから。

「あまり」「全く好きでない」の理由

・計算とかが苦手だから
・むずかしいのが苦手だから

②＜以前に比べて，算数の勉強は楽しいと思いますか＞

とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	全く思わない
６人	６人	１人	１人

「とても思う」「まあまあ思う」（１２人）の理由

・前に比べたら，問題が解けるようになってきたから。
・本当にやってみたりするから。算数日記などを見るのも楽しいから。
・5年生よりむずかしくなったけど，それなりに考える力がふえるということだから。
・楽しみながらできるから。

「あまり」「全く思わない」の理由

・計算が苦手だから
・前も今もむずかしいのは同じだから

③＜算数の勉強で楽しいやおもしろいと思うことはどんなことですか＞

（３つ以内に〇をつけてください）

	わくわく １４人	のびのび １４人
計算する	７人	５人
自分なりに考える	**３人**	**７人**
式を立てる	２人	２人
図や絵を書く	７人	６人
発表する	**０人**	**２人**
本当にやってみる	**２人**	**６人**
ものを使って勉強する	６人	６人
みんなで考えを出し合う	**０人**	**３人**

※わくわくコースは，どちらかというと算数が得意な子が多い

この意識調査の結果から，のびのびコースの子どもたちは，自分で考えたり，みんなで学び合うことを楽しいと感じていると思われる。また，以前と比べて算数が楽しいと感じている子も「とても」「まあまあ」を合わせると，１４人中１２人もいることがわかった。最近は，算数のふり返りノートをとてもたくさん書く子もいたり，自分なりに考える時に前に学習したノートや算数日記を見ながらすすんで書いている子もいる。考える楽しさや学び合う楽しさが，学ぶ意欲の向上につながっていることが実感される毎日である。

しかし,「算数が好きでない」「楽しくない」と感じている子が２人いることは課題とされる点である。二人とも４月の学習態度と比べると，７月は自分から頑張ろうとする様子が見られるようになってきている。「計算が苦手だから」という理由のM男は，平均の単元では，電卓を使ってもよい部分でも，自分から使わずに筆算を頑張っていた。また「速さ」の学習では，ノートに自分の考えを書く場面で，とても詳しく考えを説明する文章を書くようになった。教師から見ると学ぶ意欲の向上は見られるので，今後は本人の計算に対する苦手意識を取り除いてあげる手立てが必要であると考える。もう一人のＳ男は，学習に対するやる気はあるが，じっくりと考えたり計算したりすることを苦手としている。毎時間と言ってよいほど，自分の考えを発表できたり，毎回ホワイトボード紙を活用しているので，今後もその頑張りを励ましていきたいと考える。